

# 月刊ウィーン

Monatsmagazin Japanisch  
現地オリジナル取材と編集で  
ウィーンを伝える月刊情報紙  
創刊平成元年 創刊30年目 **Nr. 348**  
**GEKKAN-WIEN 2018年9月号**

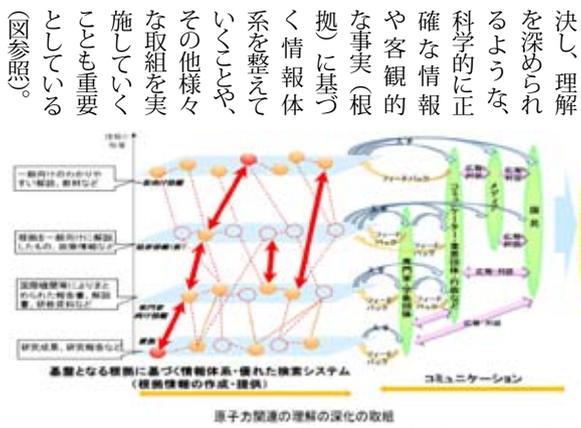


Claude Monet Junge Mädchen in einem Boot 1887 Öl auf Leinwand Tokyo, National Museum of Western Art  
クロード・モネ (1804年パリ生～1926年ジヴェルニー没) 『船遊び』1887年 油彩 カンヴァス 145.5 x 133.5cm  
独立行政法人 国立美術館 国立西洋美術館 (東京) 所蔵

所蔵経緯：1922年5月松方幸次郎氏購入、1944年フランス政府が敵国財産として没収、1959年フランス政府より寄贈返還  
9月21日よりアルベルティーナ美術館特別展『クロード・モネ』で展示



# 杉本純の原子力の話II ウィーンと京都 81



http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/hakusho/gaiyo.pdf

政府の原子力委員会は七月五日、原子力利用の現状をまとめた平成一九年度版の原子力白書を公表した。原子力白書では、東電福島第二原発事故から七年が経過した現在でも、依然として国民の原子力への不信・不安が根深く残っており、さらに、事故を契機に、我が国における原子力利用は、原発立地地域に限らず、電力供給の恩恵を受けてきた国民全体の問題として捉えられるようになってきた。そして、国民の不信・不安に対して真摯に向き合い、また、関心に応えていくために、双方の対話や広聴といったコミュニケーション活動を強化していくことが必要としている。ただし、関係者に対するコミュニケーション活動のみで国民の信頼構築が達成できるものではなく、これと併せて、コミュニケーション活動のインフラとして、国民が疑問に思ったときに、インターネット等を活用して、自ら調べ疑問を解決し、理解を深められるような科学的に正確な情報や客観的な事実(根拠)に基づく情報体系を整えていくことや、その他様々な取組を実施していくことも重要としている(図参照)。

原子力発電はベースロード電源であり、長期安定的な原子力利用は、地球温暖化・経済面・安定供給の面から重要と指摘している。また、プルトニウム利用については、軽水炉でプルトニウムを燃焼させるプルサーマルの実施に必要な量だけ再処理が実施されるよう国が再処理実施量を認可することや、長期的には、日本のプルトニウム保有量を削減するという目標を達成することが必要としている。さらに、関係組織による原子力に関する厚い知識基盤の構築に向けて、「軽水炉長期利用・安全」「過酷事故・防災等」「廃止措置・放射性廃棄物」のテーマに関する産業界と研究機関・大学等をまたぐ連携プラットフォームを立ち上げたことを紹介している。

さて、今月のウィーンと京都の対比では、両市のゴルフ場について述べてみたい。ウィーンには五つのゴルフ場がある。ウィーンから北へ約二五キロにあるゴルフクラブ・シュロス・シェーンボルンは、シェーンボルン家の夏の離宮をゴルフ場にしたり。ハプスブルク帝



父が大好きで野球場でのゴルフ練習に小さい頃よく付いてゆき、ゴルフ道具に触れていた。兄も大学でクラブに入った位で、独身時代に兄の家に遊びに行った際に打ちっぱなしに連れて行ってもらったことがある。両市のゴルフ場を紹介できた幸運に感謝しつつ、ゴルフクラブ・シュロス・シェーンボルンの写真を掲載させていただきます。

国時代の歴史を感じる伝統的なゴルフ場である。全一七ある各ホールは森によつて分離されている。ウィーン南の森バーデン近くにあるフォンタナというゴルフ場は、クラブハウスの前にザルツカンマーグートを思わせる水質のいい池がある。遠くアルプスの二角も眺められる。このほか、プラター公園内にあるゴルフクラブ・ウィーン、市内から南西へ約五キロにある温泉・スパも併設するシティー&カウントリークラブウィーナーパーク、市内から北西へ約五キロにあるゴルフ

クラブシュッセンブルンがある。

一方、京都市内には三つのゴルフ場がある。戦後設立された京都ゴルフ倶楽部は、上賀茂と舟山の両コースを有し、日本初の株式会社方式での運営、法人会員制度の導入など、我が国ゴルフ界の先駆けとして知られる。昭和二三年に完成した上賀茂コースは、我が国戦後初の新設コースである。上賀茂神社の北に接し、老木や数々の樹木が美しく、京都の庭園を思わせるコースである。昭和三七年に完成した舟山コースは、北区の船山に設けられ、京都市内を見下ろす眺望が自慢。アップダウンがあり変化に富む。京都大原パブリックコースは、三千院で有名な大原の山々に囲まれたパブリック制のコースである。大原の自然のなかりーズナブルな値段でゴルフが満喫できる。両市のゴルフ場は、風光明媚なコースが多いことが共通している。

杉本純の原子力の話II 「ウィーンと京都」の第1回からの全記事が次のサイトに掲載されています： <http://wattandedison.com/Sugimoto.html>



## Timothy Snyder ティモシー・スナイダー

第3回ウィーン人文科学フェスティバル Vienna Humanities Festival が9月27日から30日までの4日間、40のスピーチ(通訳なしでドイツ語または英語)で開催される。今年のモットーは《権力と無力 „Macht & Ohnmacht“》で、民主主義の危機、原理主義者の力の強化、ともに活路を見出す試みなどが重点となる。著名な米国の歴史学者ティモシー・スナイダーが開会を行い、新右翼インターナショナルが台頭していることや民主主義の土台が危機に瀕していることを示した新著「束縛への道 ロシアヨーロッパアメリカ」が紹介される。フェスティバルの枠内で映画「ヴァルトハイムのワルツ」がウィーン・プレミア上映される。会場はウィーン博物館カールスプラッツ、ウィーン工科大学、プロテスタント学校などカールスプラッツ界隈の他、市庁舎、人間科学研究所。映画はシュタットキノ、ガルテンパウキノ。 [www.humanitiesfestival.at](http://www.humanitiesfestival.at)

